

# 企画部地域政策課

## 1 基地対策関係

(1) 美保基地周辺環境整備の調整及び促進を行った。

広島防衛施設局補助事業

民生安定事業 2件

障害防止事業 2件

特定防衛施設周辺整備調整交付金事業 2件

(2) 大篠津町移転跡地の整備促進について広島防衛施設局と協議を行った。

(3) 米子飛行場周辺地域振興協議会の開催

総会 平成15年8月29日

## 2 米子空港滑走路延長(2,500メートル化)関係

(1) 米子空港滑走路延長事業に関する地元との調整は、8月29日の地元協議会において鉄道平面迂回案が了承された。

## 3 地方バス路線関係

(1) 生活バス路線を維持するため、生活路線維持費補助金の支出を行った。

日ノ丸自動車株式会社

区		分		路線数	補助額(単位;円)
生活路線 維持費補助金	運行費 補助金	国県補助対象路線	広域幹線路線	5	4,822,174
			広域路線	16	13,271,542
		単市補助対象路線(市内完結路線)		2	531,226
合計				23	18,624,942

日本交通株式会社

区		分		路線数	補助額(単位;円)
生活路線 維持費補助金	運行費 補助金	国県補助対象路線	広域幹線路線	2	4,420,460
			広域路線	14	9,164,000
		単市補助対象路線(市内完結路線)		19	24,782,000
合計				35	38,366,460

(2) 米子市路線バス活性化協議会を開催し、路線バスの活性化策についてバス事業者と協議を行った。

(3) 新規路線や路線延長,バス停留所の移動等の住民要望について,バス事業者と調整を行った。

(4) 米子市循環バス(愛称「だんだんバス」)運行

路線バス活性化策の一助として、平成13年度の実験運行時の各種調査結果を踏まえ、米子駅を発着し、大学病院など市内中心部を循環するコミュニティバスの運行を行った。

ル ー ト ; 市内中心部(米子駅 大学病院 ホープタウン前 天満屋前 ふれあいの里 高島屋前 米子駅)での一方向周りの循環運行

運行回数 ; 平日 25 便、土・日、祝日 23 便(始発 8 時～終発 18 時：25 分間隔)  
使用車両 ; 市所有のノンステップバス(34 人乗り)2 台  
愛称の「だんだん」は、「ありがとう」を意味する思いやりふれあいを連想できる米子の方言で、一般公募 315 件の中から採用したものを。  
停留所 ; 32 箇所(市が設置)  
料金 ; 1 人 1 回 100 円(身体障害者等は半額、幼児は無料)  
運行方法 ; 市とバス事業者が協定を結び、運行するバス事業者に対し、運行経費から運賃収入を控除したいいわゆる赤字額(15 年度；8,878,858 円)を市が補填する。  
利用者数 ; 総乗車人員 205,219 人、  
一日平均 562.2 人、一便平均 23.1 人(幼児を含む)

(5) 米子市生活交通確保検討委員会の開催

本市における生活交通に関連する事項について、研究・検討を行うため、米子市生活交通確保検討委員会を開催した。

構成 ; 学識経験者 2 名、各種団体 5 名、公募 2 名、バス事業者 2 名、計 11 名

開催日 ; 平成 15 年 11 月 19 日

4 鉄道関係

(1) JR 西日本が実施する山陰本線・境線・因美線の高速化事業を支援するため、次のとおり負担を行った。

平成 15 年度米子市負担額 28,919,000 円

(2) 山陰新幹線、中国横断新幹線の建設促進について、「山陰新幹線建設促進期成同盟会」、「中国横断新幹線建設促進鳥取県期成同盟会」を通じて要望活動を行った。

(3) 「JR 伯備線フリーゲージトレイン導入促進鳥取・島根・岡山三県協議会」を通じて、伯備線及び山陰本線(米子～出雲市間)へのフリーゲージトレインの早期導入について要望活動を行った。

(4) JR 利用に関わる諸問題について、JR 西日本米子支社との調整を行った。

5 航空路線関係

(1) 平成 13 年 4 月に山陰初の国際定期路線となる「米子～ソウル線」が開設され、「米子 - ソウル国際定期便利用促進実行委員会」などを通じ、同路線の利用促進活動を行った。

(2) 米子空港の利用促進活動について、「米子空港利用促進懇話会」を通じ、米子空港駐車場無料化事業、米子空港時刻表(ポケット版)の作成、米子空港連絡バスのラッピング広告掲出、[空の日]行事への参加をはじめとする各種利用促進活動、PR 活動等を行った。

(3) 要望活動

平成 15 年 6 月 19 日から 21 日にかけて S A R S の風評被害で利用者が減少したソウル便の運航継続についてソウルのアジアナ本社に要望した。

(4) 利用促進活動

ア 平成 15 年 4 月 1 日～平成 16 年 3 月 31 日

米子空港駐車場無料化事業

イ 平成 15 年 9 月 13 日～15 日

イトーヨーカドー葛西店センターコートにおいて、山陰観光・物産展を開催し、首都圏からの観光客誘致活動を行なった。

ウ 平成15年11月

米子・安来・境港各商工会議所会員に対して東京方面への出張実態調査を実施した。

エ 東京便が7月18日より1日5往復に増便されたので、7月18日に空港で記念式典を開催したほか、新聞・ラジオ・テレビ等で5便化のPRを行った。

## 6 米子市交通バリアフリー基本構想関係

JR米子駅を中心とする地区について、基本構想の策定に向けた取組みを行った。

## 7 通信関係

通信業務の円滑な事業推進を図るため、米子郵便局等関係諸団体との調整を行った。

## 8 崎津団地関係

### (1) 崎津団地アミューズメント施設用地の活用について

土地利用を促進するための施策について、引き続き検討を行った。

### (2) 崎津団地開発促進事業の金利負担を軽減するため、米子市土地開発公社に対し貸し付けを行った。

貸付額 3,278,303,000円

利子 47,908,926円

### (3) 日本中央競馬会環境整備事業の調整を行った。

## 9 水資源対策関係

### (1) 賀祥ダム建設工事に係る水道局企業会計の負担に対し、次のとおり費用負担を行った。

ア 水道事業出資金 36,646,747円

イ 水道事業補助金 42,146,543円

## 10 リゾート推進事業

### (1) 大山山麓リゾート・観光推進協議会の開催

開催日 平成15年6月10日

## 11 高等教育機関設置事業

### (1) 大学・短大等設置事業

現実的な大学・短大の進出計画はなかった。

### (2) Y M C A米子医療福祉専門学校について

平成6年4月に開校したY M C A米子医療福祉専門学校は、順調に発展を遂げ、平成16年度の入学志願者数は247名で県外志望者がその32%を占めた。また、平成16年3月には、理学療法士科、作業療法士科及び介護福祉科で104名の卒業生を送り出した。就職は進学・家事従事を除き102名で、就職地域は市内19名、県内(米子市除く)25名、県外58名であった。就職先は、理学療法士科と作業療法士科では9割以上が病院へ、その他は老人保健施設などとなり、介護福祉科でも特別養護老人ホーム、老人保健施設や病院へ大半が就職した。さらに第39回国家試験において理学療法士38名、作業療法士34名の合格者を出している。

そのほか教育面の充実を図るため例年実施している海外リハビリテーション専門学院での臨床実習に学生を派遣したほか、市民を対象とした介護とリハビリテーションに関する公開講座を開催した。

### (3) 高等教育機関の充実発展への支援

米子工業高等専門学校の発展と産学連携の強化を目的に、様々な事業を実施している米子工業高等専門学校振興協会の活動に対し、引き続き協力した。

平成15年度振興協力会活動内容

ア ロボコン全国大会出場支援（平成15年11月23日）

イ 企業見学会（平成15年12月12日）

ウ 高専研究発表会（平成16年2月6日）

エ 産官学連携推進のための調査研究支援

オ 共同研究支援

(4) 山陰法科大学院設立へ向けた支援

島根、鳥取両県の自治体、弁護士会、商工会議所等が中心となり結成された山陰法科大学院設置促進期成同盟に参画し、島根大学の大学院設置に向けた活動に対する支援を行ってきたが、島根大学への法科大学院（山陰法科大学院）の設置が文部科学省から認可を受け、平成16年4月から開校することとなった。